

教安第568号
平成26年9月8日

各県立学校長様

教育振興部学校安全保健課長

デング熱の発生について（通知）

日頃から児童生徒の健康管理について御尽力いただき厚くお礼申しあげます。従来、デング熱患者の国内発生は、海外渡航歴のある者に限られ、国内感染者は確認されておりませんでした。しかしながら、平成26年8月26日に埼玉県内において、海外渡航歴のないデング熱患者が確認され、9月1日には、県健康福祉部疾病対策課報道発表（別添1）のとおり、千葉県内においても海外渡航歴のないデング熱患者が発生しました。

つきましてはデング熱について、『学校保健 知得情報 VOL.13（「デング熱」ってどんな病気？）』を作成しましたので、御活用いただくとともに、県健康福祉部疾病対策課ホームページ及び厚生労働省ホームページの情報について、内容を十分に御理解願います。

また、デング熱について相談がある場合には、最寄りの保健所まで相談願います。

【参考】

□『学校保健 知得情報 VOL.13（「デング熱」ってどんな病気？）』

平成26年9月発行

□千葉県ホームページ

<http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2014/dengu-20140904.html>

□厚生労働省ホームページ

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakku-kansenshou19/dengue_fever_qa.html

ファクシミリ施行

担当

学校安全保健課

保健班 朝生 光明

電話 043-223-4092

FAX 043-225-8419

メールアドレス

m.asu13@pref.chiba.lg.jp

教安第568号
平成26年9月8日

各市町村教育委員会教育長様

教育振興部学校安全保健課長

デング熱の発生について（通知）

日頃から児童生徒の健康管理について御尽力いただき厚くお礼申しあげます。従来、デング熱患者の国内発生は、海外渡航歴のある者に限られ、国内感染者は確認されておりませんでした。しかしながら、平成26年8月26日に埼玉県内において、海外渡航歴のないデング熱患者が確認され、9月1日には、県健康福祉部疾病対策課報道発表（別添1）のとおり、千葉県内においても海外渡航歴のないデング熱患者が発生しました。

つきましてはデング熱について、『学校保健 知得情報 VOL.13（「デング熱」ってどんな病気？）』を作成しましたので、御活用いただくとともに、県健康福祉部疾病対策課ホームページ及び厚生労働省ホームページの情報について、内容を十分に御理解の上、貴管下学校への周知について御配慮願います。

また、デング熱について相談がある場合には、最寄りの保健所まで相談願います。

【参考】

□『学校保健 知得情報 VOL.13（「デング熱」ってどんな病気？）』

平成26年9月発行

□千葉県ホームページ

<http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2014/dengu-20140904.html>

□厚生労働省ホームページ

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakku-kansenshou19/dengue_fever_qa.html

ファクシミリ施行

担当
学校安全保健課
保健班 朝生 光明
電話 043-223-4092
FAX 043-225-8419
メールアドレス
m.asu13@pref.chiba.lg.jp

教安第568号
平成26年9月8日

各教育事務所長様

教育振興部学校安全保健課長

デング熱の発生について（通知）

このことについて、別添写しのとおり、貴管下各市町村教育委員会教育長宛て通知したので、御了知ください。

ファクシミリ施行

担当
学校安全保健課
保健班 朝生 光明
電話 043-223-4092
FAX 043-225-8419
メールアドレス
m.asu13@pref.chiba.lg.jp

教安第568号
平成26年9月8日

各関係課長様

教育振興部学校安全保健課長

デング熱の発生について（通知）

日頃から児童生徒の健康管理について御尽力いただき厚くお礼申しあげます。

従来、デング熱患者の国内発生は、海外渡航歴のある者に限られ、国内感染者は確認されておりませんでした。しかしながら、平成26年8月26日に埼玉県内において、海外渡航歴のないデング熱患者が確認され、9月1日には、県健康福祉部疾病対策課報道発表（別添1）のとおり、千葉県内においても海外渡航歴のないデング熱患者が発生しました。

つきましてはデング熱について、『学校保健 知得情報 VOL.13（「デング熱」ってどんな病気？）』を作成しましたので、御活用いただくとともに、県健康福祉部疾病対策課ホームページ及び厚生労働省ホームページの情報について、県立教育施設等に対する周知及び情報伝達について御配意願います。

また、デング熱について相談がある場合には、最寄りの保健所まで相談願います。

【参考】

□『学校保健 知得情報 VOL.13（「デング熱」ってどんな病気？）』

平成26年9月発行

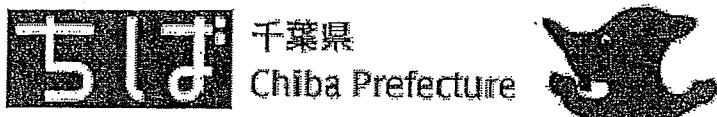
□千葉県ホームページ

<http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2014/dengu-20140904.html>

□厚生労働省ホームページ

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakukansenshou19/dengue_fever_qa.html

担当
学校安全保健課
保健班 朝生 光明
電話 043-223-4092
FAX 043-225-8419
メールアドレス
m.asu13@pref.chiba.lg.jp



[ホーム](#) > [生活・福祉・医療](#) > [保健・医療](#) > [健康づくり](#) > [感染症対策](#) > デング熱の国内感染症例について

更新日: 平成26(2014)年9月1日

デング熱の国内感染症例について

平成26年9月1日、柏市でデング熱の患者が発生いたしました。県内症例も含め、これまでに1都5県で計22名の患者が確認されています。(9月1日現在)

デング熱は、通常はおおむね1週間程度の経過で後遺症なく軽快しますが、一部の方で重症化することもあります。

感染経路は、ヒトからヒトではなく、患者から血を吸った蚊が媒介して感染が広がる疾患であり、今後県内で感染が拡大する可能性は低いものと考えられます。

今般の患者は、いずれも代々木公園の蚊による感染と推定されています。過度に心配する必要はありませんが、蚊に刺されてから3~7日程度で高熱が見られれば、早めに医療機関を受診してください。

また、戸外に出るときは、長袖、長ズボンを着用するなど肌の露出をなるべく避けることや、虫さされ防止薬を適正に使用するなど、蚊にさされないような工夫を心がけてください。

厚生労働省 デング熱に関するQ&A

◆問い合わせ先(県内保健所一覧)

参考情報

[厚生労働省 デング熱について](#)

[国立感染症研究所 デング熱とは](#)

[厚生労働省検疫所\(FORTH\) 感染症についての情報
デング熱](#)

関連リンク

現在、情報はありません。



ホーム > [生活・福祉・医療](#) > [保健・医療](#) > [健康づくり](#) > [感染症対策](#) > [感染症発生情報](#) > デング熱
(国内感染症例)の発生について

報道発表資料

更新日:平成26(2014)年9月4日

デング熱(国内感染症例)の発生について

発表日:平成26年9月4日

千葉県健康福祉部疾病対策課
043-223-2672

市川市在住の20歳代の女性が、8月31日に頭痛、発熱、咳を呈し、9月1日に市川市内の医療機関を受診した。

症状改善せず、9月4日に浦安市内の医療機関を紹介され同日入院となった。

同日、千葉県衛生研究所で実施した血液検査の結果から、デング熱と診断され、医療機関から市川保健所にデング熱の発生届があった。

当該患者に対する調査の結果、1か月以内の海外渡航歴はなく、8月22日に代々木公園周辺を訪問していたことを確認した。

患者発生の経緯

8月22日(金曜日)

代々木公園周辺を訪問

8月31日(日曜日)

頭痛、発熱、咳を発症

9月1日(月曜日)

市川市内の医療機関を受診したが、症状改善せず

9月3日(水曜日)

市川市内の別の医療機関を受診

9月4日(木曜日)

県衛生研究所の検査結果によりデング熱と診断され、医療機関より市川保健所が発生届を受理

県内の発生状況(デング熱届出数)

区分	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
千葉県	7	27	4	14	20	9(3)
全国	93	244	113	221	249	-

(平成26年は9月4日まで。千葉県分は本件を含む。)

県民の皆様へ

戸外に出るときは、長袖、長ズボンを着用するなど肌の露出をなるべく避け、虫さされ防止薬を適正に使用するなど、蚊にさされないような工夫を心がけてください。

蚊に刺された後、3~7日程度で高熱がみられた時は、早めに医療機関を受診してください。

デング熱に関するご相談は、最寄りの保健所へ御相談ください。

◆厚生労働省 デング熱に関するQ&A [\[外部リンク\]](#)

◆県内の保健所一覧

(参考)デング熱とは

1.発生状況

アジア、中南米、アフリカなど熱帯・亜熱帯に広くみられる。

60年以上、国内における感染報告はなかったが、2014年8月以降報告が続いている。

2. 感染経路

ヒトからヒトの直接的な感染はない。

患者を刺し、ウイルスを保有した蚊が媒介して感染が広がる

3. 潜伏期間

3~7日が多い。

4. 症状

突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹。

感染しても発症する頻度は10~50%。

予後は比較的良好だがまれに重症化することがある。

潜伏期間は2~15日と言われており、多くは3~7日で発症する

5. 治療

対症療法を行う。

有効な抗ウイルス薬はない。

6. 予防法

長袖、長ズボンを着用し、素肌でのサンダル履き等は避ける。

虫除け剤の使用等によって、屋外だけではなく屋内でも蚊に刺されないように注意する。

室内の蚊の駆除を心がける。

蚊幼虫の発生源を作らないように注意する。

有効なワクチンはない。

このページに関するお問い合わせ

所属課室:健康福祉部疾病対策課感染症予防班

電話:043-223-2672

ファクス:043-224-8910

学校保健 知得情報

って する

千葉県教育庁教育振興部
学校安全保健課 保健班
平成26年9月 発行

vol. 13



ヒトスジシマカ



「デング熱」ってどんな病気？

熱帯で流行、高熱や関節に痛み

問1 デング熱とは、どのような病気ですか？

答 デングウイルスが感染しておこる急性の熱性感染症で、発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹などが主な症状です。発熱は2～7日間持続し、初期症状に続き、全身の筋肉痛、骨関節痛、全身倦怠感を呈します。発症後3～4日後、胸部、体幹から始まる発疹が出現し、四肢、顔面に広がります。症状は1週間程度で回復します。なお、ごくまれに一部の患者において、発熱2～7日後、血漿漏出に伴うショックと出血傾向を主な症状とする致死的病態が出現することがあります。

問2 どのようにして感染するのですか？

答 ウィルスに感染した患者を蚊が吸血すると、蚊の体内でウィルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することでウィルスが感染します（蚊媒介性）。ヒトからヒトに直接感染するような病気ではありません。また、感染しても発症しないことも多くみられます。

問3 日本国内での発生はありますか？

答 海外の流行地で感染し帰国した症例が近年では毎年200名前後報告されています。日本国内で感染した症例は、過去60年以上報告されていませんでしたが、2014年8月には、国内感染例が確認されています。

蚊が媒介、虫よけで予防を

竹林、公園や庭の木陰などでの作業時には長袖、長ズボンで予防を



問4 日本国内でデング熱に感染する可能性はあるのでしょうか？

答 日本にはデング熱の主たる媒介蚊のネッタイシマカは常在していませんが、媒介能力があるヒトスジシマカは日本のほとんどの地域（青森県以南）に生息しています。このことから、仮に流行地でウィルスに感染した発症期の人（日本人帰国者ないしは外国人旅行者）が国内で蚊にさされ、その蚊がたまたま他者を吸血した場合に、感染する可能性は低いながらもあり得ます。ただし、仮にそのようなことが起きたとしても、その蚊は冬を越えて生息できず、また、卵を介してウィルスが次世代の蚊に伝わることも報告されたことがないため、限定された場所での一過性の感染と考えられます。

なお、ヒトスジシマカは、日中、屋外での活動性が高く、活動範囲は50～100メートル程度です。

国内の活動時期は概ね5月中旬～10月下旬頃までです。

問5 どのように予防すればよいですか？

答 有効なワクチンはありません。蚊に刺されないように注意しましょう。長袖、長ズボンの着用が推奨されます。

庭先のバケツなど水がたまって蚊の幼虫が発生しやすい場所を作らないことも効果的である

問6 国内で感染したと推定される場所において、蚊に刺された場合どのようにしたらよいですか？

答 過度に心配する必要はありませんが、蚊に刺されてから3～7日程度で高熱が見られたら、早めに医療機関を受診してください。

<参考資料>

□デング熱に関するQ&A www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/.../dengue_fever_qa.html

□デング熱とは - 国立感染症研究所 www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/238-dengue-info.html

この「知得情報」は校内で印刷し、教職員に配布するか、回覧をお願いします。

